



No.99

発行所 (公財)神戸学生青年センター

理事長 保田 茂

館長 飛田 雄一

〒657-0064 神戸市灘区山田町3丁目1-1

TEL (078) 851-2760 FAX (078) 821-5878

Yamada-cho 3-1-1, Nada-ku

Kobe, 657-0064 Japan

E-mail info@ksyc.jp

URL http://ksyc.jp

2019年3月16日(土)

食料環境セミナー 第500回記念講演 「日本の食料・農業・農村の未来」

保田 茂 先生



食料環境セミナーは、神戸学生青年センターの3本柱の一つとして、1973年6月に始まり、46年間毎月1回開かれ、2019年3月で記念すべき500回目を迎えることになりました。このセミナーは、保田先生が最初に提唱されました。保田先生は現在、兵庫農漁村社会研究所所長であり、神戸学生青年センターの理事長です。講演録を作成します。

1970年代は、水俣病、PCB、母乳から農薬の検出など食の安全が問われる時代でしたので、73年6月に食品公害セミナーの第1回目の講演会として「今なにをどう食べるか」をテーマに話しました。その後、3回目に「タマゴ生産の実情」というテーマで原勘太郎さんより話を聞き、卵の共同購入が始まり、74年4月に消費者団体「食品公害を追放し安全な食べ物を求める会」が誕生し、75年3月市島町有機農業研究会の発足をきっかけに米や野菜の共同購入も可能になりました。センターを中心として学びの場所から意識が養われ、行動力が生まれそして有機農業という形に農業が姿を変える運動を進めてきました。それから、46年目を迎えるこの半世紀時代はわかり、食の安全・安心という言葉が定着しましたが、私は今も有機農業運動を実践しているつもりです。

今日のテーマですが、日本の農村・農業・食料には未来がないと思っています。なぜなら、これから20年後、日本の未来は超高齢社会、総人口の減少、仕事の減少と給料が減る時代を迎えることになります。即ち、安全・良質な食べ物を確保しなければ食料を海外に依存できない時代を迎えることになります。

日本の農村・農業・食料の未来のために如何すべきかを色んな統計を用いて説明します。20年後、240万の高齢者を120万の若者が支える時代になり、35歳の夫婦が4人の高齢者を養うこととなりますので、若者に負担をかけないことが何より重要です。そのためには元気で大根やキャベツぐらいいは自ら生産できる生産力を保つ高齢者になる必要があります。健康であることは安全・良質な食べ物を正しく食べることから始まります。

産業の経済発展は永遠続けることができない、特に工業という産業は継続発展が難しいと思います。成熟社会は必ず若者の失業率を高めますが、国は借金によって仕事を増やそうとしています。しかし、非正規労働者が中心になっています。工業製品は一回購入すると次に買うのはおよそ10年後ではありませんか？しかし、死ぬまで買い続けるものがあります。食べ物は死ぬまで買いますので農業という産業に若者を増やすべきではないかと思います。

日本の農業の実態ですが、農業用土地が減少しています。即ち、農業生産が減っていることを意味します。田んぼの面積が半分まで減りました。農家数も半分になり、高齢化も進んでいます。農家の所得は主食作物を中心として経営が成り立ちますが日本の農業経営は採算が合わない、減反政策によって米が作れないので農業経営が成り立たない状態が続いていました。最近、村に入った若者は野菜栽培を中心に頑張っていますが米が作れないことには農業所得を安定させることが難しいと思います。今の状況下では米の値段が安すぎるので生産できません。しかし、都市の人々は何を食べていますか？今の日本人の7割が朝パンを食べているようです。輸入品である小麦製品を食べたがるので、若者の生活を安定させることが難しいと思います。

このような状況を変えるためには、私たちが出来ることを暮らしの中で実践すればいいのです。若者が作った農産物が売れるような構造を作り、田んぼを守り、村を活性化させるような暮らしの実践が出来れば日本の食料・農業・農村の未来は明るくなると思います。

六甲奨学基金2018年度は 7名の留学生に支給しました

Aさん:奨学金のおかげで勉強の時間もありませんでした。JLPTのN2合格ができました。ありがとうございました。

Bさん:この一年間、六甲奨学基金のおかげで、生活面では順調だったので、授業や研究に集中することができました。また、毎月奨学金を取るために神戸に行かないといけなかったので、ついでにこの機会を使って神戸市内にいる友達に会えるのでよかったです。

Cさん:一年前、奨学金を受けることができて本当に助かりました。思い出して、その期間には、学校の勉強が難しいこと、バイトで疲れること、日本語の勉強する時間がないこと、将来の道や仕事かわからないこと、家族の寂しいことなど、沢山の苦勞の中で奨学金をうけられることのおかげで、生活費と学費の負担が軽くなって、その苦勞もほとんど解けることになりました。

Dさん:この奨学基金のおかげで自分の理想の大学に進学するために、全力で勉強することができました。本当にありがとうございました。今後も、感謝の気持ちを胸に、努力を積み重ねていきます。

Eさん:みんなの努力によって奨学金を続けていくことができます。これは素晴らしいことだと思います。ここで六甲奨学基金のために努力した皆様に心から感謝いたします。本当にありがとうございます。

ゴスペルコンサート

恒例となっているKOBE Mass Choirのゴスペルコンサートです。1998年3月結成。日本基督教団東神戸教会を拠点に活動を展開しています。2014年4月から佐々木咲野加さんをリーダーとして、30代~70代の個性あふれるメンバーとともに第二期目の活動に入っています。



ゴスペルコンサート 2018.12.14

第22回六甲奨学基金のための古本市開催中!!

今年もみなさまからたくさんのお本を寄贈していただきました。心よりお礼申し上げます。4/7現在、売り上げは約170万円。GWに向けて本の入れ替えをしていきますので、みなさま何度でもお越しください。~5/15まで休みなし、朝9時~夜10時までOPENしています。お待ちしております。

朝鮮史セミナー

今年は1919年の朝鮮三一独立運動から100年を迎えました。学生センターでは「日本の朝鮮植民地支配と朝鮮の民族運動」をテーマに講演会を開きました。講師は京都大学名誉教授水野直樹先生。三一運動を現在の視点から問い直す講座となりました。先生の朝鮮史セミナーの講演録に、『天皇制と朝鮮』(朴慶植ほか、1989年、品切)、『朝鮮近現代史における金日成』(和田春樹、1996年)があります。また他にセンター出版部は『3・1独立運動と堤岩里教会事件』(信長正義訳、1998年)を出しています。



水野直樹さん 2.27

星野文昭&暁子 絵と詩展

1971年11月、「沖縄返還協定」批准反対の渋谷デモで一人の警察官が死亡した事件で無期懲役が確定して獄中44年。星野文昭さんを取り戻す会兵庫の主催で絵と詩展が開かれました。「はだしのゲン」上映会もありました。



星野文昭&暁子 絵と詩展 1.11-14

辻建先生が亡くなりました

去る3月17日、心不全で亡くなりました。86歳でした。葬儀が3月20日、先生が牧会されていた日本基督教団大島教会(山口県周防大島)で行われました。飛田と信長たか子さん(監事)が告別式に参列しました。先生は、1972年のセンター設立に尽力され、1977.12~1991.3にセンターの館長として2002.5~2009.5は理事長として働いてくださいました。心のこもった告別式でした。飛田が追悼文を「むげ通信」に書いています。ネット検索してお読みいただければ幸いです。



辻建先生と飛田 2月17日訪問した時

宿泊に...

1泊お1人様
3,240円より
グループなら
2,700円より

宿泊・会議室ともに、ご予約は12カ月前より承ります
料金は税込。()内の金額は学生料金です。単位:円
キャンセルの場合は前日50%、当日80%ちょうだいします

■**宿泊料金(税込) 定員42名** チェックイン:18:00-22:00
チェックアウト:9:00

部屋名	定員/広さ	利用人数による一人あたりの宿泊料金(単位:円)
和室A	8名 12畳 20㎡	2-3人 (3,780) 4-6人 (3,780) 7-8人 (2,700)
	各3名 7.5畳 12㎡	1人 (3,780) 2人 (3,240) 3人 (2,700)
和室D	12名 17.5畳 30㎡	3-6人 (3,780) 7-9人 (3,780) 10-12人 (2,700)
	各2名 4㎡	1人 (3,240) 2人 (2,700)

(就学前のお子さま) 引率の大人一人につき一人無料
※ただし布団を使われるお子様は1,080円/人、2人目からは小学生料金
(小学生のお子さま) 大人料金の半額
(中学生以上のお子さま) 学生料金

会議に...

ゼミ・会議・講演会に

多目的ホール、会議室5室、和室4室

就学前のお子さまは、引率の大人一人につき一人無料
二人目からは学生料金をちょうだいします

■**会場使用料(税込)**
営業目的の会場使用は一般料金の倍額

部屋名	広さ	9:00-12:00	13:00-17:00	18:00-22:00
ホール	120㎡	7,236 (6,156)	8,208 (7,236)	8,208 (7,236)
会議室A	40㎡	3,348 (2,916)	3,888 (3,348)	3,888 (3,348)
会議室D	30㎡	3,348 (2,916)	3,888 (3,348)	3,888 (3,348)
スタジオ	20㎡	2,916 (2,376)	3,348 (2,916)	3,348 (2,916)
サロン室	33㎡	3,348 (2,916)	3,888 (3,348)	3,888 (3,348)
会議室C	15㎡	2,916 (2,376)	3,348 (2,916)	3,348 (2,916)
和室A	12畳	3,348 (2,916)	3,888 (3,348)	この期間は利用できません
和室D	17.5畳	3,348 (2,916)	3,888 (3,348)	この期間は利用できません
和室B/C	7.5畳	2,916 (2,376)	3,348 (2,916)	この期間は利用できません

●営業目的の会場使用は、10割増となります。
●ピアノ使用は1口1,080円(スタジオ)、3,240円(ホール)

ご予約は... ☎078-851-2760

●阪急六甲より徒歩2分
●JR六甲道より徒歩10分
●新幹線新神戸よりタクシー15分

食料環境セミナー

1月は、平賀緑先生より『資本主義的食料システム』を考える～大豆を伝統食から工業原料に、植物油をエネルギーから食材に変えた政治経済史～というテーマでお話していただきました。食べ物が自分で育て、料理して食べるものから買うものになった歴史的背景と、売るために作られるものを経済学では「商品」と呼び「商品」は利潤を出すために作って売るもの、そういう食料システムを資本主義的食料システムと呼ぶことを日本の大豆と油を例として説明して頂きました。

2月はNPO法人兵庫県有機農業研究会と共催で「種子-みんなのもの?それとも企業の所有物?-」の上映会の後、日本の種を守る会事務局アドバイザー印鑰智哉先生より「種を守って有機農業を広げよう。自由なタネなしに自由な社会は作れない。」というテーマでお話していただきました。

人類は進歩を遂げる一方大きなものを失っているが、その対象として土・種、土壌が傷つき失われることによって人の腸も傷つくことについて説明して頂きました。

3月は保田茂先生より「日本の食料・農業・農村の未来」というテーマでお話していただきました。日本の農業の未来のために主食であるご飯を食べる必要があることを説明していただきました。フランス人の主食はフランスパン、ドイツ人の主食はドイツパンであり、イギリス人の主食はイギリスパンであることをもう一度聞かせていただきました。また、県内の幼稚園や保育園でご飯塾を実施していることや9ヶ所で有機農業学校を開催し、今も積極的に有機農業運動を実践していることを教えてくださいました。



平賀緑さん 1.23



印鑰智哉さん 2.17



保田茂さん 3.16

土曜ティーサロン

お茶を飲んでお菓子を食べながら、ゲストの行って来た場所や出身地にまつわる海外の楽しいお話を聞いています。昨年12月は「ノルウェー&ドイツの歩き方」葺合高校留学生のマリアさんとエリザベスさん、今年2月は「ピースボートで行く地球一周の船旅」神戸大学大学院2年生の安藤真子さん、3月には「ウズベキスタンの歩き方」JICAシニアOV会の浦野俊夫さんにお話していただきました。毎月第1土曜日の3～4時に開催しており、参加費は無料ですので皆さんのご参加お待ちしております。お話しくださる方も募集中です。



マリアさんとエリザベスさん 18・12・15
安藤真子さん 2.2 浦野俊夫さん 3.2

林賢宜さんの韓国料理教室

毎回人気の韓国料理講座です。チヂミは日本でもおなじみの韓国料理のひとつですが、その中でも今回は白菜入りチヂミとコチュジャン入りチヂミを学びました。4月以降も毎月第一土曜日に開催します。気になるメニューはありましたか?ご参加お待ちしております。



コチュジャン入りチヂミとギョウザ入りトック 2.2

朝鮮語・韓国語講座

2019年4月より朝鮮語・韓国語講座の水曜日実践会話クラスを「楽しく話そう韓国語(初級2)」に、金曜日の昼初級クラスを「話してみよう韓国語(初級1)」に、金曜日の昼会話クラスを「応用クラス」にクラス名を変更することになりました。その他に、木曜日夜の上級クラス、金曜日夜の初級クラスも開講されています。5月には新たに火曜日の夜に入門クラスを開講する予定です。皆様のご参加をお待ちしております。

定期利用 グループ・教室のご案内

- ◆六甲トレーニングサロン……………
月曜日・前9～12:00
前田先生 0797-35-5588
- ◆からむい会(絵更紗)……………
第1・3月曜、第2・4木曜・後1～5:00
連絡先・小塚 078-731-3694
- ◆すぎなコーラス……………
月曜日・前10～12:00
連絡先・大谷 078-861-0338
- ◆神戸女声合唱団……………
金曜日・前10～12:00
連絡先・岡 邦子 078-291-0855
- ◆創作アップリケ……………
第2・4月・金曜日・前10～12:00
第1・3火曜日・前9～後5:00
柏原先生 078-821-4632
- ◆ノイエカンマーコール(混声コーラス)……
土曜日・後6～9:00
連絡先・西山:080-5704-5406
- ◆ヨガ体操……………
火曜日・前9:30～12:00
廣瀬先生 078-851-8851
- ◆アトリエ太陽の子(児童絵画)……………
木曜日・後1～5:00
中嶋先生 078-858-7301
- ◆六甲ボーカル……………
第1・3木曜日・前10～12:00
池本先生 078-861-8724
- ◆こうべこーる恵(コーラス)……………
火曜日・前10～12:00
連絡先・田附 0798-26-2169
- ◆スタンドグラス・アトリエとも……………
第2・4木曜・後1～5:00
幸坂先生 078-582-0644
- ◆全珠連会員・熊内そろばん六甲教室……
火曜・後3～9:00、土曜・後1～4:00
奥野先生 078-241-1095
- ◆テコンドー……………
毎週金曜日・後6～9:00
連絡先・妹尾 090-9846-8241
- ◆稽古会空手道……………
毎週月曜日・後4～10:00
連絡先・藤本 078-842-5669
- ◆すずめの学校(ニューヨークタイムズ紙を読む会)……
第2・4水曜日 前10:00～12:00
連絡先・桑原 0798-74-4512
- ◆前田書道会……………
火曜日・前9～後5:00
連絡先・前田先生 078-385-1650
- ◆音楽の杜(リトミックピアノ教室)……………
土曜日・前9～後5:00
連絡先・桂先生 078-891-3419
- ◆Rokko kids English Club……………
木・金 幼稚園クラス・親子クラス
LaurenceDrew先生
連絡先・山本 070-5509-4403
- ◆イースト神戸トーストマスターズクラブ
英語スピーチクラブ……………
第4土曜日 後1:30～4:00
連絡先・山下 090-8365-9118
- ◆公文阪急六甲書写教室……………
日曜日・前9～後5:00
連絡先・白髪先生 080-3822-9137

お問合せやお申込は、各グループ・教室に直接ご連絡ください。

※当センターへの寄附金は、①所得控除または②税額控除が受けることができます。賛助会費、六甲奨学基金募金の両方に適用されます。詳しくはセンターにお問い合わせください。

(公財)神戸学生青年センター賛助金 2018.12.1~2019.3.31 (敬称略・単位円)

Table listing donors and amounts for the 2018.12.1~2019.3.31 period. Includes names like 早川良彌, 高岡育子, 岩崎謙, etc., and a total of 709,510円.

賛助金ご協力をお願い

●賛助会費：一口 A3,000 B5,000 C10,000
※いずれも一口を単位としますが、何口でも結構です。
※送金方法
郵便振替 (01160-6-1083 公益財団法人 神戸学生青年センター)

六甲奨学基金

2018.12.1~2019.3.31 (敬称略・単位円)

Table listing donors and amounts for the 2018.12.1~2019.3.31 period. Includes names like 李重華, 青木京子, 高光重, etc., and a total of 322,000円.

六甲奨学基金ご協力をお願い

●賛助会費：一口 A3,000 B5,000 C10,000
※いずれも一口を単位としますが、何口でも結構です。
※送金方法
郵便振替 (01160-6-1083 公益財団法人 神戸学生青年センター)

セミナーの記録

2018.12.1~2019.3.31

食料環境セミナー

498回1月23日『資本主義的食料システム』を考える～大豆を伝統食から工業原料に、植物油をエネルギーから食材に変えた政治経済史』平賀緑さん

朝鮮史セミナー

2月27日『日本の朝鮮植民地支配と朝鮮の民族運動 三一独立運動100周年にあたって』水野直樹さん

朝鮮語・韓国語講座

実践会話 毎週水曜日 朴玲実さん
上級 毎週木曜日 尹智香さん
夜初級 毎週金曜日 文雅炫さん

林賢宜さんの韓国料理教室

12月15日白菜入りチヂミ・ニンニク入り鶏肉炒め
2月2日トマンドウ(ギョウザ入りトック)・コチュジャン入りチヂミ

六甲奨学基金

日本語サロン 毎週月・土曜日

1月26日日本語サロン交流会
3月15日~5月15日第22回古本市

土曜ランチサロン

12月15日『ノルウェーの歩き方&ドイツの歩き方』Maria Simonsenさん&Elizabeth Kirschさん

その他のセミナー・行事

12月3日神戸南京をむすぶ会『「廠害(しょうこう)事件」(中国)をご存知ですか?』上田雅美さん・宮内陽子さん(後援)

12月21日高作先生と学ぶ会『不起立訴訟の現在』高作正博さん(共催)



第22回 六甲奨学基金のための

古本市

2019年
3月15日~5月15日
連日9:00~22:00開催